

# ファンユニット 取付け蒸気防ぐ

## オペレーターの環境 改善で大成ロテック

大成ロテックは、関西支社  
関内で受注した阪神高速発注  
の「舗装補修工事（29―2―  
西）」に作業環境改善型グース  
フィニッシャーを導入した。  
現場のオペレーターの作業環  
境改善の取り組みの一環で、  
橋梁のグースアスファルト舗  
装に使用するグースフィニッ  
シャーに蒸気軽減対策を施し  
た。今後は適用機種を拡大し、  
汎用のアスファルトフィニッ  
シャーへの導入も検討する。  
グースアスファルト舗装は

上部に取り付けたファンユニット  
でエアカーテンを形成



橋梁の鋼床版に適用される舗  
装で、一般的なアスファルト  
舗装と比較して材料が高温で  
蒸気の発生も多い。従来は蒸  
気発生個所に吸引装置を取り  
付け、蒸気を強制的に排出す  
ることで作業環境を改善して

いた。

同社は、さらなる対策とし  
てグースフィニッシャーの運  
転席屋根にファンユニットを  
取り付け、運転席上部から運  
転席を囲むようにエアカーテ  
ンを形成することで、外部か  
ら蒸気の侵入を防止できるよ  
うにした。また、装置中央部か  
らは電気集じん機を介してク  
リーンな空気を送風し、オペ  
レーターへの蒸気の影響を軽  
減する。夏期の暑さ軽減対策  
としての活用も期待される。

導入現場のオペレーターか  
らは「エアカーテンと強制排  
気ファンのおかげで施工中の  
蒸気の影響をあまり感じるこ  
とはなかった」と感想が寄せ  
られた。